

5

## 保健・医療・福祉



応急仮設住宅集会所での健康チェック

### ■ こころのケアの取組

#### 被災者1人ひとりの心に寄り添う

##### 岩手県こころのケアセンターの設置

被災者の精神的負担を軽減するため、県内外のチームの支援により、「こころのケア」活動を行い、発災から平成24年3月末までに、延べ30チームの派遣を受け入れ、延べ約9,800人の住民のケアに取り組みました。

この活動を引き継ぎ、平成24年2月に、岩手医科大学内に「岩手県こころのケアセンター」を、3月には、沿岸4箇所(久慈市・宮古市・釜石市・大船渡市)に「地域こころのケアセンター」を設置し、被災者一人ひとりに寄り添ったこころのケアを推進しています。



岩手県こころのケアセンター開所

##### いわてこどもケアセンターの設置

震災により大きなストレスを抱えながら生活する子どもたちの心のケアに対応するため、平成23年6月に「子どものこころのケアセンター」を宮古市に開設、気仙地区・釜石地区にも同センターを順次開設し、子どもや家族、保育士や教員からの相談を受けてきました。

また、平成25年5月には、中長期的に継続した支援を行う拠点として、クウェート国・日本赤十字社の支援により、「いわてこどもケアセンター」を矢巾町に開設しました。



多職種によるケアチーム

### ■ 被災地における医療確保支援

#### 慣れ親しんだ地域で健康で安心して暮らせるように

##### 岩手県医師会高田診療所の開所

平成23年8月、気仙地区への医療支援を目的に、岩手県医師会が陸前高田市に診療所を開設しました。診療には、県内外からの応援医師があたり、地域医療の大きな支えになっています。



岩手県医師会高田診療所

##### 被災県立病院への民間からの支援

民間企業から高田・大槌・山田の各県立病院に、医療機器を搭載した本県初のドクターカー3台が寄贈され、応急仮設住宅等への訪問診療活動などに活用されています。

また、大槌病院には、民間団体から簡易型診療施設が寄贈され、現在も、その施設で外来診療が行われています。



県内初の認可となったドクターカー



簡易型診療施設(現在の県立大槌病院)

### ■ 被災地における保健活動

#### 長期化する応急仮設住宅生活に対応した予防医療

県、市町村や関係機関が連携しながら、看護職員が応急仮設住宅等を定期的に巡回するなどし、血圧測定などの健康チェックから日常の健康相談、健康教育などを行っています。

また、県歯科医師会及び県歯科衛生士会の協力のもと、被災地に歯科医師・歯科衛生士を派遣し、歯科健診、歯科相談、歯磨き指導等の歯科保健活動を実施しています。

### ■ 被災地における高齢者の交流促進

#### いつまでも健康・元気で生きがいを創造

##### 被災地高齢者ふれあい交流促進

応急仮設住宅で生活している高齢者の方に、健康で元氣な生活を送っていただけるよう、応急仮設住宅とその地域にお住まいの方を含めた皆さんの交流の場として「世代間交流ふれあいフェスタ」や「ふれあい運動教室」を開催しました。



ふれあい運動教室

##### 被災市町村地域支え合い体制づくり

高齢者の方が震災後の生活の中で、自ら新たな役割や生きがいを創造する地域活動に対して費用を助成しています。

岩泉町小本地区では、料理教室やノルディックウォーキング、マッサージ教室などの多彩な活動を毎月5~10回ほど行っているほか、地域のボランティアスタッフと協力し、菜園での野菜作りに取り組むなど、積極的に住民同士の交流を深めています。



岩泉町小本地区における交流

### ■ 「岩手県防災ボランティア活動推進指針」の策定

#### 官民協働で効率的な防災ボランティア活動へ

ボランティア活動は、被災地のマンパワー不足を補うのみに留まらず、柔軟できめ細かな支援活動により、多くの被災者を支えました。

一方で、発災後しばらくの間、経験不足等に起因するNPO等の受け入れをめぐる混乱や、関係機関の連携が十分に行われないなどの課題も指摘されました。

こうした課題を踏まえ、平成26年3月に官民協働で、「岩手県防災ボランティア活動推進指針」を策定し、非常時における円滑なボランティアの受け入れに備えています。



総合防災訓練

岩手県防災ボランティア活動推進指針 ▶ <http://www.pref.iwate.jp/fukushi/chiiki/fukushisuishin/023266.html>

### ■ 岩手県災害派遣福祉チームの設置

#### オール岩手で災害時の福祉を確保

今回の震災の経験を踏まえ、平成25年度に、県、福祉関係団体等と官民学共同により、大規模災害時において、避難所等の高齢者や障がい者などの福祉・介護等のニーズ把握や応急支援などを担う「岩手県災害派遣福祉チーム」を設置しました。

平成25年度には、所定の研修を受講した福祉専門職員約200名がチーム員として登録されました。



チーム員研修

岩手県災害派遣福祉チーム ▶ <http://www.pref.iwate.jp/fukushi/chiiki/fukushisuishin/023589.html>